

今後の洞峰公園はようになっていくの？

経緯やアンケート結果などの詳細はこちら▶



施設はどのように維持管理していくの？

茨城県が適切に管理し保ってきた緑豊かな洞峰公園を今後も守っていくために、施設の長寿命化を図りながら維持管理していきます。具体的には、施設の目標使用年数「80年」を目指して、今後、長寿命化計画を策定し、さらに国の補助金も活用しながら、持続可能な公園管理を行っていく予定です。このように、さまざまな工夫を凝らしながら、市民や利用者の皆さんに長く愛されていく公園としていければと考えています。

洞峰公園の未来はようになっていくの？

茨城県から無償譲渡による移管を受け、これまでの自然の恵み豊かな環境を守っていきながら、将来的には今まで以上に市民や利用者の皆さんに愛される公園にしていく必要があると考えています。そのために、行政だけでなく、生物多様性分野などの学識経験者、周辺住民の皆さんや利用者の皆さんなどと話し合いながら公園のあり方を決めていく協議会を設置する予定です。皆さんと共に、洞峰公園をより良い場所にする努力をしていきたいと思ひます。



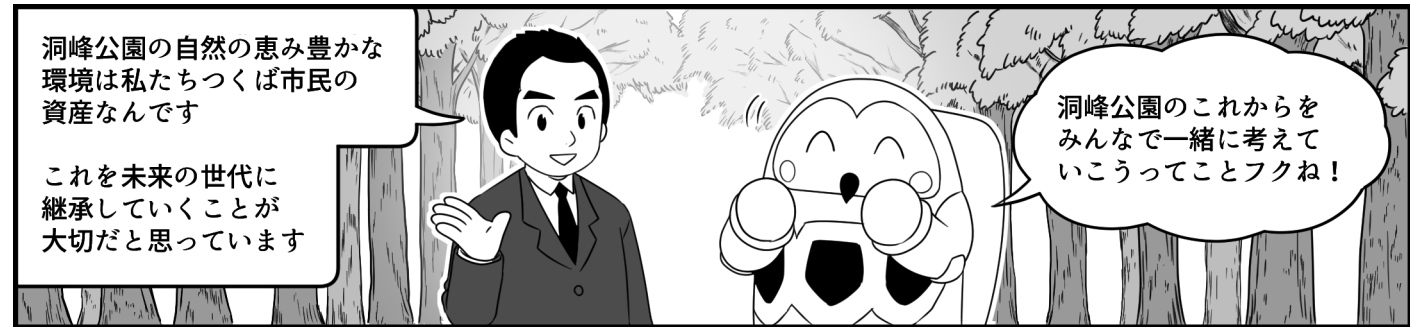
太陽熱を利用した温水プール



さまざまな屋内スポーツが楽しめる体育館



イチョウの落ち葉で彩られるプロムナード



移管後の活用イメージ

持続可能なまちづくりの観点から、以下のようなイメージで活用していきます。

- ▶ 緑豊かな環境の維持
- ▶ 生態系について学ぶ拠点としての活用
- ▶ 誰もが安全で使いやすい場の提供
- ▶ スポーツ施設の学校授業への活用

長寿命化とは

効率的な維持管理業務サイクルの構築や、予防保全型の改修・改築などの実施により、施設機能を維持しながら従来以上に長く使い続けることで、財政負担の軽減・平準化を図ること。

アンケートへのご協力をお願いします。

今後の発行の参考とさせていただきますので、「もっと知りたい!つくば市かわら版 第30号」をお読みになった感想などをお寄せください。(各号ごとのアンケートとなります)

※個別の質問にお答えすることはできません。

▶ <https://r.qrqrq.com/LA20RYp0>

パソコン スマホ

でつくば市かわら版をいつでもどこでも!

市ホームページ



マチイロ



市公式YouTube



つくば市イメージキャラクター
フックン船長

もっと知りたい!

つくば市 ばん

かわら版

第30号



つくば市長 五十嵐立青

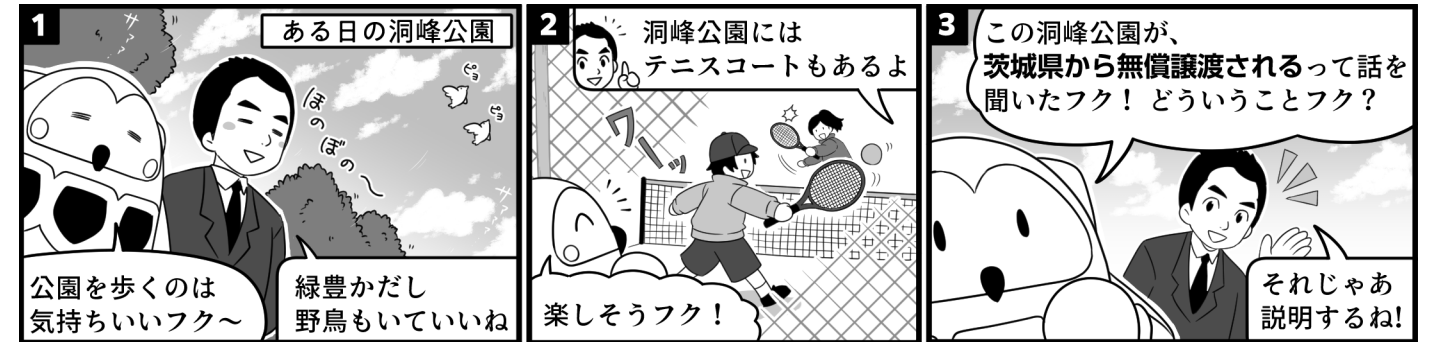
2024年2月15日

皆さんのギモンに市長が答えます

今回のテーマ

どうほう 洞峰公園のこと、もっと知りたい!

園 公園・施設課



ギモン

01

洞峰公園ってどんなところ?

そもそも、洞峰公園ってどんな公園なの?

フックン船長も大好きな洞峰公園、実は筑波研究学園都市が建設された時に茨城県が作ってくれた公園なんです。つくば市には、国策で計画的に都市が整備された背景から、市の中央部を南北に貫くペDESTリアンデッキ(歩行者・自転車専用道路)など特徴的な街並みがありますよね。そこに接続する新都市のシンボルとして整備された総合公園、それが洞峰公園なんです。

どんな設計で造られたの?

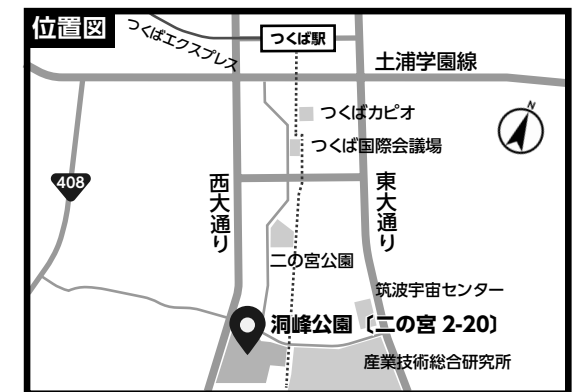
公園設計時の大きなテーマは、まず県南地域のスポーツによる娯楽の場として多様なスポーツ施設を導入することでした。それと併せて、洞峰沼の明るく広がりある景観の展開も重要なテーマとして設計しているんですよ。現在、四季折々に楽しめる樹木が立ち並ぶ緑豊かな環境のため、市内外から利用者が多く訪れる人気スポットです。そんな素晴らしい公園を未来の世代に継承していくため、さまざまな経緯を経て、茨城県から無償譲渡により移管されることになったんです。



野鳥が憩う洞峰沼

総合公園とは

都市住民(つくば市全域を対象)全般の休息、鑑賞、散歩、遊戯、運動などの総合的な利用を目的とする公園。



..... ペDESTリアンデッキ(歩行者・自転車専用道路)

次のページから、無償譲渡を受けることになった経緯を詳しく説明するよ!

ギモン 02 つくば市が茨城県から洞峰公園の無償譲渡を受けることになった経緯を詳しく教えて!



きっかけは何だったの?

公園の維持管理にかかる費用を減らし、公園の魅力を向上しようと、茨城県が2021年12月に事業者を決定したパークPFIがきっかけです。事業者を決める会議はつくば市も傍聴して見守っていましたが、事業者の提案内容に対しては懸念を抱いていました。やがて、近隣に住む方々をはじめとする市民や利用者からも不安の声が上がったんです。

パークPFIとは

都市公園において、飲食店、売店などの公園施設(公募対象公園施設)の設置または管理を行う民間事業者を、公募により選定する制度。事業者が設置する施設から得られる収益を公園整備に還元することを条件に、管理許可期間を20年に延長するなどの特例措置が事業者に適用される。

パークPFIって良さそうな制度だけど、どうして不安の声が上がったの?

パークPFIという制度自体には全く問題はありません。ただ、事業者の提案内容が右のとおりだったため、このまま進むと、現在の穏やかな憩いの場である洞峰公園の姿や環境が大きく変わってしまうのでは?そう思い、つくば市では、2021年12月、茨城県に質問状を送り、懸念を伝えました。それ以降、公園の利用者や、周辺住民の皆さんなどからも、茨城県やつくば市に今回のパークPFIの見直しを求める要望書が寄せられるようになったんです。

事業者の提案内容

グランピング施設、アウトドアレストラン、カフェ施設(酒類の提供あり)、ビール工房、トレーニングジム、ドッグラン、インクルーシブ遊具*の設置、テニスコート増設、南側駐車場拡張(樹木の伐採を伴う)など

*体に障害がある人もない人も、一緒に遊ぶことができる遊具

その後どんな動きがあったの?

茨城県とつくば市それぞれの主な動きを簡単にまとめました。

茨城県とつくば市の動き [県…茨城県](#) [市…つくば市](#) [県アンケートの結果はこちら▶](#)

2022年7月 **県** パークPFI事業に対する意見を集めるため、県民を対象とした説明会やアンケート(1回目)を実施。アンケート回答者の9割がつくば市民だったことなどから結果はとりまとめられなかった。
※説明会参加者から、公園での酒類提供に反対する声が多く上がった。
※アンケートの設問中に、パークPFIの代替案として「利用料の値上げ」が示された。

2022年9月 **県** 県民を対象とした無作為抽出の選択式アンケートを実施(2回目)。

2022年10月 **県** 2022年10月のアンケート(2回目)の結果、「茨城県全体」「つくば市民のみ」のいずれもパークPFIの実施について賛成が反対を上回ったと公表。(県全体:賛成50.3%、反対12.8% つくば市民のみ:賛成39.3%、反対27.4%)
※アンケート(2回目)の結果を受け、グランピングなどの当初計画は維持としつつも、酒類提供関係など一部が見直された。

市 利用者や市民が望んでいることを正しく把握するため、茨城県が2022年7月に実施したアンケート(1回目)を独自で集計し分析。その結果、「計画全体に対する評価」について約87%が「改善すべき点がある」と回答していたことがわかった。
※回答者の半数以上が、茨城県が提示したパークPFIの代替案(利用料の値上げ)について「良い」と回答していた。
※回答者の多くが、普段から公園を利用している人であった。(週1回以上:42.75%、月1回以上:22.05%)

2022年11月 **市** 集計結果を基に①「パークPFIを撤回し、当初茨城県が示した代替案である利用料の値上げを導入すべき」②「協議会を設置し、洞峰公園のあるべき姿を議論していくのが望ましい」と茨城県に提案。

2023年1月 **県** 知事定例記者会見において、知事が「茨城県の案で改修を進めるか、つくば市が無償譲渡を受けるかいずれかと考えている」と発言した。



つくば市の提案を茨城県はどう受け止めたの?

「利用料の値上げ」「協議会の設置」というつくば市の提案に対し、茨城県からは、いずれも行う考えはないが、つくば市が自ら管理するのであればつくば市への無償譲渡を協議したいという回答がありました。

つくば市はそれをどう受け止めたの?

地域住民や公園利用者に愛されている洞峰公園の環境は、これまで茨城県が適切に管理し保ってきたものです。その環境をつくば市として引き継ぐことが、地域にとってもつくば市全体にとっても望ましいと判断し、茨城県から無償譲渡を受けてつくば市が管理することについて協議をすることとしました。当初、茨城県から大規模修繕に必要な費用として平均0.8億円/年度を示されたことなどから、施設の修繕費を含めた維持管理にかかる費用が心配されましたが、茨城県から提供された詳細な資料を元に、つくば市が建築士による調査などを実施し、改めて費用を算出したところ、次のようになりました。

○維持管理費 約1億5,100万円/年度 ○目標使用年数(80年)を実現するための施設修繕費 約3,500万円/年度

今後、長期的な見通しを持ち、つくば市の財政負担を減らすためには、長寿命化計画(4ページ参照)を策定した上で、国の補助金を活用しながら管理をしていく必要があると考えています。なお、現時点で修繕の必要性が判明している部分については、茨城県が修繕してくれています。

市議会や市民とも丁寧に対話したの?

はい。市議会や市民との対話の機会を設けて、皆さんの声を聴いていくなか、市議会には全員協議会にて3回、市民に対しても市民説明会を4回実施しました。茨城県では2023年7月に調査特別委員会が設置され、同年9月に無償譲渡の妥当性が県議会で認められました。

無償譲渡が決まるまでの動き

2023年2・6月 市議会で全員協議会を実施

2023年7月 市民説明会を実施(無償譲渡の経緯や維持管理に要する費用、今後の活用のあり方などについて説明) [市民説明会の資料はこちら\(PDF\)▶](#)

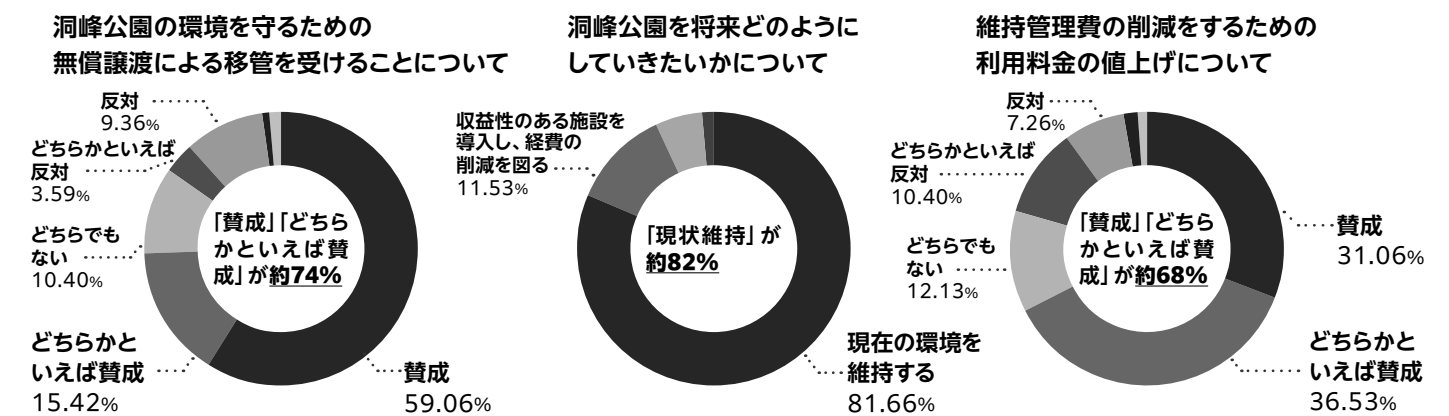
2023年11月 市議会で全員協議会后、市民アンケートを実施

2023年12月 市議会で「つくば市都市公園条例の一部を改正する条例」および維持管理に関する予算が賛成多数で可決され、茨城県からつくば市に無償譲渡により移管されることが決定



参考 市民アンケート(2023年11月実施)の集計結果の一部 (回答者:1,336人)

※「その他」「未記入」の記載は省略しています。



次のページで、洞峰公園を今後どうしていくか説明するよ!